平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
事務	务事業名	建築指導に要する経費							会計一般	款 8	項 1	目 2	多額経費	
	 政策	22	 快適な暮らしの	 D環							 築住:	L 宅課	!	
	 施策		221良好な	住年	との整備	 带			担当課室長	浮力		勝詞	Ę	
I 改革	- 改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	たと	りの方気	〔								
①のでた ②基取結果	前年度に比り 数が減少した パトロール件 平成28年度の べ105件の立 トロールは18 あったため回	ド平成27年度しため、建基法が数を向上させるのパトロール回流入調査を行ったので、延べ96件の対象は下回り件数は下回り件数	はパトロール件 なび建リ法の か。 数は16回、延 こ。前年度のパ D立入調査で		③平成度に取改革・i 内容	/回数に は増え <i>†</i> ロール	だべ平成28年度はパトは減少したが、立ち入りた。建基法及び建り法ル件数をさらに増やし、 近の促進を図る。							
Ⅱ事務	事業の目的・	概要												
①目的	的 対象 ・建築計画等に係る市民、設 意図(対象をどう 違反建築物 計者、不動産業者等 するのか) 違反建築物													
②事務事	・建築基準法、建設リサイクル法、省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、 ②事務事業の概要 検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談												查、	
からの状況見込み・市	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) ・建築物省エネ法が改正され、設置基準に関する相談等の増加が見込まれる。ま た、相隣間や建築工事に関するトラブルの相談が増加傾向にある。													
	9年度の事	<mark>◇コストの状況</mark> 確認件数が前 導については、						F度比 [·]	109%7	ゔあ゙	った。	違。	支指	
②成果		指標名称			平成26 平成27 平成28 単位 年度 年度 年度			単位	算定根拠					
を表す	i		忍申請件数		390	468			業務耳					
指標	ii	建基法及びリ	去パトロール件	-数	女 141 96 105 件			件	業務取得					
	iii			-		-	/ 	1\ 0\	h		P /		7 //r	
			平成28年度決算	半	成28年) 入第7年	<u>度決算</u>	(事業費)の主		な内訳	平成29年度-		予算		
事業費(-		5,054	1,539	1	金額(千		74 At 4- TL	内容	- / H- make				1702	
	出金(千円)	0	<u> </u>	+		317	建築行政デー	ータヘースシス	アム使用料				0	
	<u>は並(エロ)</u> その他(千円)	0	<u>C</u>	_									0	
	<u> </u>	5,054	1,539	_									1702	
IV 評価		0,004	1,000										. , 52	
	目的に対す	検査済証交付	率の向上と相関	粦間	トラブル	レの対	心							
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 2普通		v 総合	評価	6精	查•	検証	
③上記記	呼価の理由	法律に基づく業	- 終であるが、	窓口	浅務€)対応フ	ち法なと	≟検討;	が必要	0				
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画」にお	ける	達成状	況								
①平成2	8年度の計画			平成28年度事業費(計画事業費) 予算額)状況(単位;千円) ┃ 決算額					
	対する事業実績					0	当初 H27⇒28繰越		0		から 繰越			
③達成物	犬況			-			補正		.	現金	年分			
④未完了	・非着手の理由			平成	29年度への)繰越額(単	流用·充当 i位;千円)			- 70	1 73			

平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

击₹	平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)															
争的	务事業名		住宅耐震改	修促進事	業			会計一般	款 []]	項 1	目 2	多額 経費 〇				
	 政策	22	 快適な暮らし <i>の</i>)環境をつ	,											
	<u></u>		221良好な			担当課室長	ディング ディング ディング ディング ディング アイ・ファイン アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア		勝身							
		=事務事業をよ		•					77 /	н ,	כ נגנו	,				
1 以里		一争伤争未でよ	り及り天肥りる	1207077 3 5	尺 /	エーカ	一街区	ニーマヽ	. <i>I</i>	した。	主战	<u> </u>				
の評価 で掲げ た内容		相談会参加者数 i法等を検討する		③平月 度に取	双組む	し、市 向に関 調査を	民の耐 関する訓 -分析し	震に関 調査を行 八耐震	する。 テ う 。 改修	意諳 アン 補 耳	載や: ケー カ事	意 - ト 業				
②①に 基づく 取組み 結果	加え、コミュニ グを活動を実			内容	改革・改善の申請 内容 ・				手法							
Ⅱ事務	事業の目的・	概要		•												
①目的	対象	市民 (旧耐震木造建	建物所有者)	意図(対象 するのか)		旧耐! 及びご	夏基準(対修	の木造	住宅の	の耐	震	診断				
②事務事	事業の概要	昭和56年5月3 及び耐震改修工 い無料耐震相談	事費の一部を補	助し、また	、地元建	建築関係	系団体カ									
からの状況	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 東日本大震災の意識が低下しつつあったが、熊本地震の発生により、市民の震災 への関心が高まっており、旧耐震以前の建物の早急な耐震診断、改修が必要。															
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況			Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況											
①平成28年度の事業の成果 補助申請は前年度同様3件にとどまったが、耐震相談会の参加者は6人から24人に増加した。																
			年度同様3件に	とどまった	:が、耐	震相談	会の参	参加者(は6人	から	24.	人				
		に増加した。	年度同様3件に 票名称				会の参 単位		算定			人				
業の成界で表す		に増加した。 指植 耐震診断る	票名称 数修補助申請	平成26 年度 4	平成27 年度 3	平成28 年度 3	<mark>単位</mark> 件	業務耳	算定			人				
業の成界 ②成果		に増加した。 指植 耐震診断る	票名称	平成26 年度	平成27 年度 3	平成28 年度 3	<mark>単位</mark> 件		算定			A				
業の成界 ②成果 を表す 指標	i ii iii	に増加した。 指権 耐震診断さ 無料耐震相	票名称 改修補助申請 談会実施回数	平成26 年度 4 5	平成27 年度 3 4	平成28 年度 3	<mark>単位</mark> 件 回	業務軍業務軍	算定 仅得 仅得	根拠	L					
業の成界 ②成果 を表す 指標 ③事務事	i ii iii iii 事業のコスト	に増加した。 指権 耐震診断る 無料耐震相 平成27年度決算	票名称 收修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算	平成26 年度 4 5	平成27 年度 3 4 度決算	平成28 年度 3	単位 件 回 (アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	業務軍業務軍	算定 仅得 仅得	根拠	. 度	予算				
業の成果 ②成果 を表す 指標 ③事費(-	i ii iii 事業のコスト 千円)	に増加した。 指標 耐震診断さ 無料耐震相 平成27年度決算 1408	票名称 收修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日	平成27 年度 3 4 度決算	平成28年度 3	単位 件 回 かの主 内容	業務軍業務軍な内訳	算定 仅得 仅得	根拠	· 度 · (予算 6680				
業の成果 ②成果 を指標 ③事業費(- 国支出	i ii iii iii 事業のコスト	に増加した。 指権 耐震診断る 無料耐震相 平成27年度決算	票名称 收修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日	平成27 年度 3 4 度決算	平成28 年度 3	単位 件 回 かの主 内容	業務軍業務軍な内訳	算定 仅得 仅得	根拠	见 <u>度</u>	予算				
業の成果 ②成表標 事費(= 事業費(= 事業費(= 事業費(= 事)	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円)	に増加した。 指標 耐震診断で 無料耐震相 平成27年度決算 1408 575 212 0	票名称 数修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178 0	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日	平成27 年度 3 4 度決算	平成28年度 3	単位 件 回 かの主 内容	業務軍業務軍な内訳	算定 仅得 仅得	根拠	<u>。</u> (3	予算 6680 3340 1290 0				
業の成果 ②成表標 事費(三 事業) 「一般則	i ii iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	に増加した。 指標 耐震診断で 無料耐震相 平成27年度決算 1408 575 212	票名称 数修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日	平成27 年度 3 4 度決算	平成28年度 3	単位 件 回 かの主 内容	業務軍業務軍な内訳	算定 仅得 仅得	根拠	<u>。</u> (3	予算 6680 3340				
業の成果 ②成表標 事業国支出 「一般則 IV 評価	 	に増加した。 指標 耐震診断で 無料耐震相 平成27年度決算 1408 575 212 0 621	票名称 收修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178 0 270	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日	平成27 年度 3 4 度決算 - 円)	平成28年度 3 3	単位 件回 内容 外修等事	業務理な内訳	算定 又得 又得 平成.	29年	·····································	予算 6680 3340 1290 0 2050				
業の成果 ②成表標 事業国支出 「一般則 IV 評価	i	に増加した。 指植 耐震診断る 無料耐震相 平成27年度決算 1408 575 212 0 621 耐震性の無いな	票名称 数修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178 0 270 木造住宅は依然 向上や耐震診	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(円	平成27 年度 3 4 度決算 867 く、耐震請	平成28 年度 3 3 (事業費 耐震さ	単位 件回 内容 攻修等事	業務軍業の大力では、	算定 又得 又得 平成.	29年	·····································	予算 6680 3340 1290 0 2050				
業の成果 で成表標 事費支支債般 IV 課題(i	に増加した。 指標 耐震診断で 無料耐震相 平成27年度決算 1408 575 212 0 621 耐震性の無いな への参加者のは i 市関与の妥当性	票名称 数修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178 0 270 木造住宅は依然 向上や耐震診	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日	平成27 年度 3 4 度決算 一円) 867 い 前 語	平成28 年度 3 3 (事業費 耐震ご	単位 件回 内容 攻修等事	業務軍業の大力では、	算定収得のでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	29年	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	予算 6680 3340 0 2050				
業の成果 ②成表標 事費支支債 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i	に増加した。	票名称 数修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178 0 270 木造住宅は依然 向上では 高い 3高い は前年度と同数 淡を市が行うこ	平成26 年度 4 5 平成28年 金 金 で としひ。 公 公 本 性 iv 効 あ の 市 と で で 、 天	平成27 年度 3 4 度決算 867 く、助申 調額・ が安心	平成28 年度 3 3 (事業費 耐震で 部で増加 2普通・補助グ	単位 件回 内容 対修等 である	業務軍工な内訳工業のでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	算定 又得 平成 か、 評価 に に に に に に に に に に に に に に に に に に	程数 29年 意 6精 後化の	1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	予算 6680 3340 1290 0 2050 会 検証				
業の成果 ②成表標 事費支支債 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i	に増加した。 指標 耐震診断で 無料耐震相 平成27年度決算 1408 575 212 0 621 耐震性の加無の 621 耐震参の妥当性 ii 有効性 補助申請知を 性の間に対して ii 有効性 補助申請知等の「実	票名称 数修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178 0 270 木造住宅は依然 向上に 3高い は、ままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、まままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、ままます。 は、まままます。 は、ままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、まままます。 は、ままままます。 は、まままままます。 は、まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日 と) で後 平性 iv 効あり、市民 かとでで達成り	平成27 年度 3 4 度決算 (大助申 調助を が が 流	平成28 年度 3 3 (事業費 耐震・ でのがか 2 音 助い 2 音 助いれ	単位 件回 内修等 ひまさ おき	業務 **	算定な得のでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	29年 震林 6精 化来	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	予算 6680 3340 1290 0 2050 会 検証				
業の成果 ②成表標 事費支支債 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	i	に増加した。	票名称 数修補助申請 談会実施回数 平成28年度決算 868 420 178 0 270 木造住や耐震診 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 3高い は、 4世の は、 3高い は、 4世の は 4世の 4世の 4世の 4世の 4世の 4世の 4世の 4世の	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(日 と) で後 平性 iv 効あり、市民 かとでで達成り	平成27 年度 3 4 度決算 867 計助統 成28年	平成28 年度 3 3 (事業費 耐震で 部で増加 2普通・補助グ	単位 件回 内修等 対修等 が変を はさせる の打談 である。	業務 **	算定 又得 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29年 震林 6精 化来	1 2 1 1 次 で かる。	予算 6680 3340 1290 0 2050 会 検証				
業の成果 ②を指 ③事 図表標 事費支支債般 IV 10 30 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	i	に増加した。	票名称 数修補助申請 談会実施 178 868 420 178 0 270 木造上 い 3高い は依然 3高い年が行うこ は談を計画」におい 4相助 1件 3回	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(コ とし改 公効あ、 iii v ででで達 かった。 する する する ででできる する は、 ででできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でで	平成27 年度 3 4 度決算 867 計助安 次別 成28年	平成28 年度 3 3 (事業 耐 化を 高音 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	単位 件回 内修等 対修等 が変を はさせる の打談 である。	業務の事業のことにおいて、大学のでは、それらいは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	算定 又得 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	根 29年 震 精 化来 円額 下草%	1 2 1 1 次 で かる。	予算 6680 3340 1290 0 2050 会 検証				
業の成果 ②成果 ②成表標 事費支支債般 IV 課題状 価 記 額 V 平 画 成 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	i	に増加した。	票名称 数修補助申請 談会実施 178 868 420 178 0 270 木造上 い 3高い は依然 3高い年が行うこ は談を計画」におい 4相助 1件 3回	平成26 年度 4 5 平成28年 金額(コ とし改 公率の iii 対のででで iv 対のあい。 iv かった成 する する する ででで する する する ででで する する ででで する する ででで する する ものでで ものでで ものでで ものでで ものでで ものでで ものでで もので	平成27 年度 3 4 度決算 867 計助安 次別 成28年	平成28 年度 3 3 3 (事業) 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	単位件回りの主なをいる。	業務耶 な内訳 な内訳 な内記 な内記 なためこ な充行 に なたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ は たたりこ に と た た り に と り に と り に と り と り と り と り と り と り	算定 又得 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	根 29 震 精 化来 円額 一 大章 八越	1 2 1 1 次 で かる。	予算 6680 3340 1290 0 2050 会 検証				

平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

		1 774 = 0 1 72	N	-171		()-	(A = 1	+4			多額		
車¾	务事業名		施設建設監理	11-7	亜オスタ	終弗			会計	款	項	目	経費		
争的	力尹禾石		心政建改监理	:1-:	女りのi	性貝			一般	8	1	3			
	政策	22	快適な暮らしの)環	境をつ		_{担当課室} 建築住宅課 営繕室								
	施策		221良好な	 住宅	の整値				担当課室長	新塘					
I 改革	• 改善内容(=	- =事務事業をよ	り良く実施する	るための方策)											
1前回		文修の依頼事業が													
の評価 で掲げ た内容	にも修繕内容に 部局との事前の	での依頼事業が こついての相談も多)協議・調整を行う。 いよう適切な監理を	いことから、関係 とともに、現場施	③平成29年 度に取組む 改革・改善前の協議・)依頼事業が多く、また、 修繕内容についての相 とから、関係部局との事						
②①に 基づく 取組み 結果		D調整、協議を ご、業務の迅速の							調整を行うとともに、現場 とがないよう適切な監理						
Ⅱ事務	事業の目的・	概要													
①目的	対象	鎌ケ谷市が管	理する施設		図(対象 るのか)	をどう	施設 <i>0</i> 及び監)新設》 註理	及び改	修に	関す	る	设計		
②事務事	②事務事業の概要 他課から依頼を受けて行う営繕業務														
からの状況	♪析(事業開始 品変化や今後の 「民意向など)	比や今後の対する改修は必須でなり合発生維持していく											とに		
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況													
①平成2 業の成界	8年度の事 限	年間47件の依	頼事業に応え、	施	設建設	に係る	市民サ	ービス	の向上	_をB	図つ7	<u>د</u> ه			
②成果			漂名称	平成26 平成27 平成28 単位 年度 年度 年度											
を表す	i	依頼事	業実施件数		40	25	47	件	業務耳	仅得					
指標	ii														
②まなま	 			त्तर	# 00 F	中 法 生	/ 古光 書		<u> </u>	 -	۲۵۵	一击	マケ		
	事業のコスト		平成28年度決算				争美到		な内訳 平成29			中医			
事業費(三	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [203	223	3	金額(干		一分丝工	内容					307		
	日金(千円) 日金(千円)			47 営繕刊行物				<u>1111 1701</u>	半川川						
	1金(11) その他(千円)														
	才源(千円)														
IV 評価															
	目的に対す	施設の老朽化	が進み、修繕の	相	談が増	えてい	る。								
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	查•	検証		
③上記評	呼価の理由		の向上を図るた				•	が必要	Ē.,		1				
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「写	『施計画」におい	ナる	達成状	況									
							度事業	費の物	犬況(革	位;	千円])			
①平成2	8年度の計画			計画	画事業費		予算額				算客				
②計画に	対する事業実績					_	当初 H27⇒28繰越		_	H27	から _{喿越}				
③達成物	犬況					0	補正		0	TE /	F八				
④未完了·	・非着手の理由			平成	29年度への)繰越額(単	流用·充当			况"	∓分				
								•							

	7	平成29年度 鉬	*ケ谷市事務事	業評価	表	(事後)	(標準	評価表)						
由₹	マ 市 光 々	/\	+ 佐乳生 巛入年	¢πe.La	51 /d/	· — = •	L		会計	款	項	目	多額 経費		
争的	务事業名	公	共施設等総合管	3.推計16	東世	東正争 。	₹		一般	8	1	3			
	政策	22	!快適な暮らしの	の環境をつくります					担当課室	建築住宅課 営繕室					
	施策		221良好な	 住宅の整備					担当課室長	新城 英樹					
I 改革	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための	方领	策)									
①のでた ②基取結果回価げ容にくみ	成28年度に実 で掲げた内容 ①に基づく取 8年度の取り	総合管理計画策 ミ施しているため 引については特 り組み結果につ 組みなので特に	「前回の評価 にありません。 いても、平成2	以下 かま 的な取組体					の進行管理として、全庁 制の構築を行い、各施設 を策定する。						
単事務	Ⅱ 事務事業の目的・概要														
①目的	対象	鎌ケ谷市が所有す (公共建築物及び		意図(対		をどう		かな管理を図る	里を行い う。	ハ市	民サ	·–Ŀ	こ		
②事務事	事務事業の概要 市が所有する公共施設等の現状について把握し、計画的な更新等を行い継続的な施設利用が可能となるよう基本方針を定めた計画を策定する。														
からの状況見込み・市	③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 市の公共施設等の更新時期は今後集中して訪れるため、将来的な人口推移や財政状況等 を考慮し、公共施設等の計画的な更新を行い財政負担の平準化を行う必要がある。												況等		
Ⅲ事務	事業の成果や	やコストの状況													
①平成2 業の成界	8年度の事 見	市が所有する公 定めた計画を第	〉共施設等の現 を定した。	状把握?	を行	うい、今	後、必	要となる	る取組等	等の:	基本	方針	を		
②成果			漂名称	平成26 平成27 平成28 半年度 年度 年度 年度			単位	位 算定根拠							
を表す	i	計[画策定				100	%	業務耳	仅得					
指標	ii														
②重級重	 業のコスト	亚成27年度海笛	平成28年度決算	亚成28	午	市	(重業連	シの主	か内部	亚F	せつの名	F 庙·	予 質		
事業費(=		一,以27千及从异	3,892	金額			(平木)	内容	(4) (1) (1)	1):	2,20-) #		
	1.1.7/ 出金(千円)		0,002	<u> </u>	· \ I		策定委								
	出金(千円)					·									
	その他(千円)														
	<u> </u>														
IV 評価															
①課題(る現状な	目的に対す	定する必要がる	-	(定後に	ま、	各施設	との長妻	导命化	計画等	の個	国別言	十画	を策		
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平 iv 効率			3高い 3高い		v 総合	評価		終	7		
③上記評	平価の理由		今管理計画を策				-				_				
V 多額	の経費を要す	る事業等の「写	『施計画」におい	ける達成	は状	況									
	8年度の計画				平	成28年	度事業 予算額		犬況(単		千円				
②計画に対	対する事業実績	計画策定済み					当初 H27⇒28繰越	6,000	3,892		から 繰越		0		
③達成物	大況	完	了	6,000 6,00	6,000	補正						2 000			
	・非着手の理由			平成29年度	ξ ~ σ.)繰越額(単	流用·充当			'現	年分		3,892		

平成29年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
+ 7	4 中 十 4 7	市営住宅の管理運営に要する経費							会計	款	項	田	多額経費	
事 7	务事業名	ф	呂仕毛の官埋』	里区	二安 9	る栓乳	Ĩ		一般	8	5	1	1270	
	 政策	22	快適な暮らしの	 D環境をつくります					担当課室	建築	 [住:	 宅課		
	———— 施策			 住宅の整備					担当課室長	浮ケ	- 谷	勝	—— 美	
I 改革	• 改善内容(=	=事務事業をよ												
1前回	7,0,0	7 77 7 7 1 1 2 2	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			147								
の評価で掲げた内容		寿命化計画に基 あれば計画の <u></u>		③平月度に取るます。	組む	ステム 導を頻	を利用	動入に したロ ううとと	座振 もに、	法 、滞	への 納者)誘 針に		
②①に 基づく 取組み 結果		30日現在の徴 比べるとやや下		改革•i 内容	以 普	ついては職員が直接き対応をする等徴収率のす。								
Ⅱ事務	事業の目的・	概要		,	_									
①目的	対象	市営住宅の供給及び市営住宅に付随 する維持管理全般												
②事務事	事務事業の概要 市営住宅の施設等の適切な維持管理及び適切な入居者管理を行う。													
からの状況	予析(事業開始 品変化や今後の 「民意向など)	して位置付けてい	ルた昭和47年よ いるが入居希望を 善要望(高齢化す 。		はほぼ	横ばい	か減少	傾向で	ある。入	、居者	から	は放	施設	
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況												
①平成2 業の成界	8年度の事 関		維持管理を行う 料は平成29年4											
②成果		指相	票名称		平成26 年度	単位	算定根拠							
を表す	i	収	収入率				92.0	%	業務耳	汉得				
指標	ii													
	iii 事業のコスト	平成27年度決質	平成28年度決算	亚	成28年		(事業書	引の主	な内訳	内訳 平成29年度予算				
事業費(=		13,222	12,269		金額(千		\ T	<u>////</u> 内容						
国支出	出金(千円)	·	·	7,537 修約										
	出金(千円)			418 浄化槽維持管										
	その他(千円)	12.000	12,269	281 貯水槽清掃委託 1.548 市営住宅樹木剪定委託 12.								,823		
IV 評価	<mark>オ源(千円)</mark> i•検討	13,222	12,209			1,040	Lingtr	山町小子	7.亿女礼	_		۱۷,	,023	
	目的に対す	が進み、新たな	ついてはきめ細 よ入居者も福祉 埋手法では支障	的な	は施策を	と必要の	とする世						-	
2評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 2普通		公平性 効率性		2普通 2普通		v 総合	評価	Ę	改計	善善	
③上記評	平価の理由	国は公営住宅	<u> と </u>	ィネ	シーとし	て位置	置付けし			方法	。 の§	見直	しや	
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画」におい	ける										
①平成2	8年度の計画			計画	平力 事業費		度事業 予算額		犬況(単		千円 算額			
②計画に	対する事業実績			HIE	一,不具		当初 H27⇒28繰越		0	H277	から			
③達成物	大況 一					0	補正			現年	F分			
① + = 7	・非着手の理由)繰越額(単	流用·充当								

	2	呼成29年度 銷	ケ谷市事務事	業	評価表	(事後)	(標準)	評価表	₹)								
± ₹	左击₩ 5				-	#			会計	款	項	目	多額経費				
事 剂	务事業名		住宅政策に	安	する経済	貫			一般	8	5	2	4256				
	政策	22	快適な暮らしの)環境をつくります					担当課室	建築住宅課							
	施策		221良好な	主主	この整備	莆			担当課室長	浮	ケ谷	勝	美				
	•改善内容(=	事務事業をより良く実施するための方策)															
①前回 の評価 で掲げ た内容	平成28年度	からの新規のカ	とめ、なし。		③平成 度に取 改革・i	組む			管理不全な空家状態を是								
②①に 基づく 取組み 結果		からの新規のカ		こめに必要な資金を100万円 こ空家所有者に貸し付ける。													
Ⅱ事務	事業の目的・	概要								,, ,			/- A				
①目的	対象	市内の特定空	市内の特定空家等 するのか) 特定空家等を 及び防犯のま る。														
②事務事	②事務事業の概要 特定空家等を除却するために必要な資金を貸し付ける。																
からの状	が (事 末 所 宛 況変化や今後 ・・市民意向な	空家等は年々	増加する傾向に	こあ	る。												
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況															
①平成2 業の成界	8年度の事 R	資金貸付の実	績はなかった。														
②成果		指相	票名称	平成26 平成27 平成28 単位					算定根拠								
を表す指標	i ii	資金]	貸付件数		0 0 0 件				業務取得								
	iii																
	事業のコスト_	平成27年度決算	平成28年度決算						な内訳	平成29年							
事業費(-		0	69			-円)	内容		ı			1036					
	出金(千円) 出金(千円)						50 保険料					<u> </u>					
	1 <u>並(千円)</u> その他(千円)																
	才源(千円)		69										1036				
IV 評価																	
①課題(る現状な	目的に対す (ど)	経済的理由で	管理不全な状態	きの	空家が	放置さ	れ、空	家が社	t会問題	題化	して	いる	0				
②評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い		公平性 効率性		1低い 3高い		v 総合	評価	6精	査∙	検証				
③上記記	平価の理由		題化している中					全な状	態の空	家	が放	置さ	れる				
V 多額	の経費を要す	る事業等の「多		<u> †る</u>	達成状	況											
	8年度の計画						度事業 予算額		犬況(革		千円						
②計画に対	対する事業実績					当初			H27から の繰越								
③達成物	大況			H27⇒28繰越 補正					- 現年分								
④未完了	・非着手の理由			平式	29年度への)繰越額(単	流用·充当			」兄	十刀						
				1 15		- MI 27 M	,_, 1 (1/										